

国際バルク戦略港湾への選定に向けて (応募港湾:木更津港 港湾管理者:千葉県)

国際バルク貨物の安価かつ安定的な輸送を実現するため、木更津港を国際バルク戦略港湾に選定し、鉄鉱石受入港湾の能力強化と当該港湾を軸とした共同配送を実現することで、国際競争力の強化を図っていく。

《応募品目》

鉄鉱石

《応募理由》

本事業は、大型船による一括大量輸送の拠点となる港湾を「選択」と「集中」により整備するものであり、国際競争力の強化と物資の安価かつ安定的な輸送確保を目的とする。選定された場合には、国による集中投資により整備が進められ、港湾物流機能の効率化が図られる。

これにより、拠点港で積み荷の一部を降ろし、船の喫水を浅くした後に他港へ寄港する共同配送が可能となり、日本全体の鉄鉱石輸入のコスト縮減が期待される。

《目標》

2020年までに、VLOC船の入出港を可能とするために、木更津航路の水深を-23mまで増深する。

(なお、現在の木更津航路水深は-19mである。)

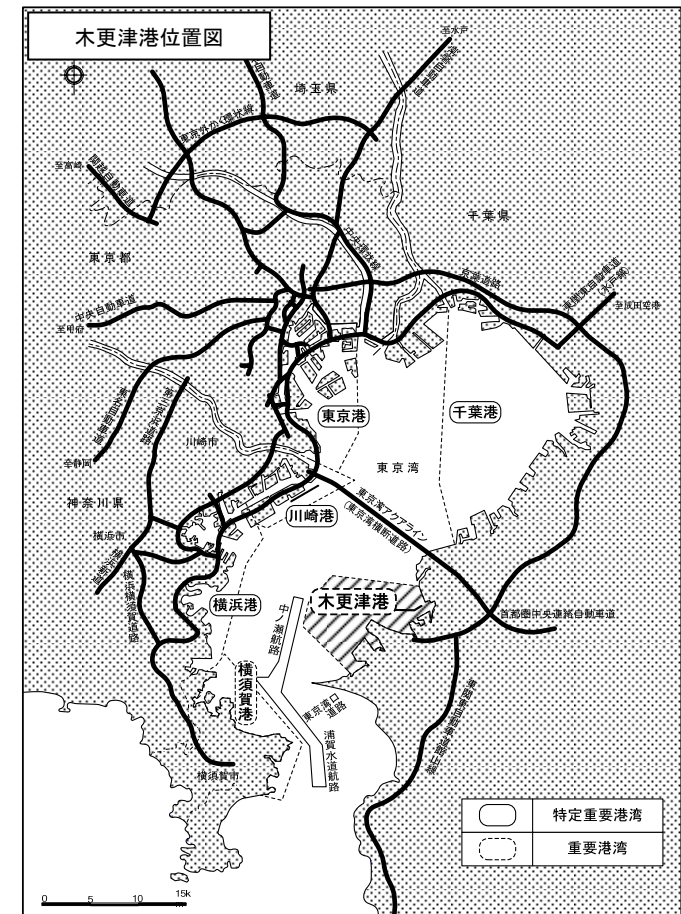
《対象立地企業》

新日本製鐵(株)君津製鐵所

《連携港湾(連携企業)》

千葉港(JFEスチール)、鹿島港(住友金属工業)、呉港(日新製鋼)、室蘭港(新日本製鐵)、名古屋港(新日本製鐵)、北九州港(新日本製鐵)

※木更津港と共同配送することに同意している港(協議中の港を含む)



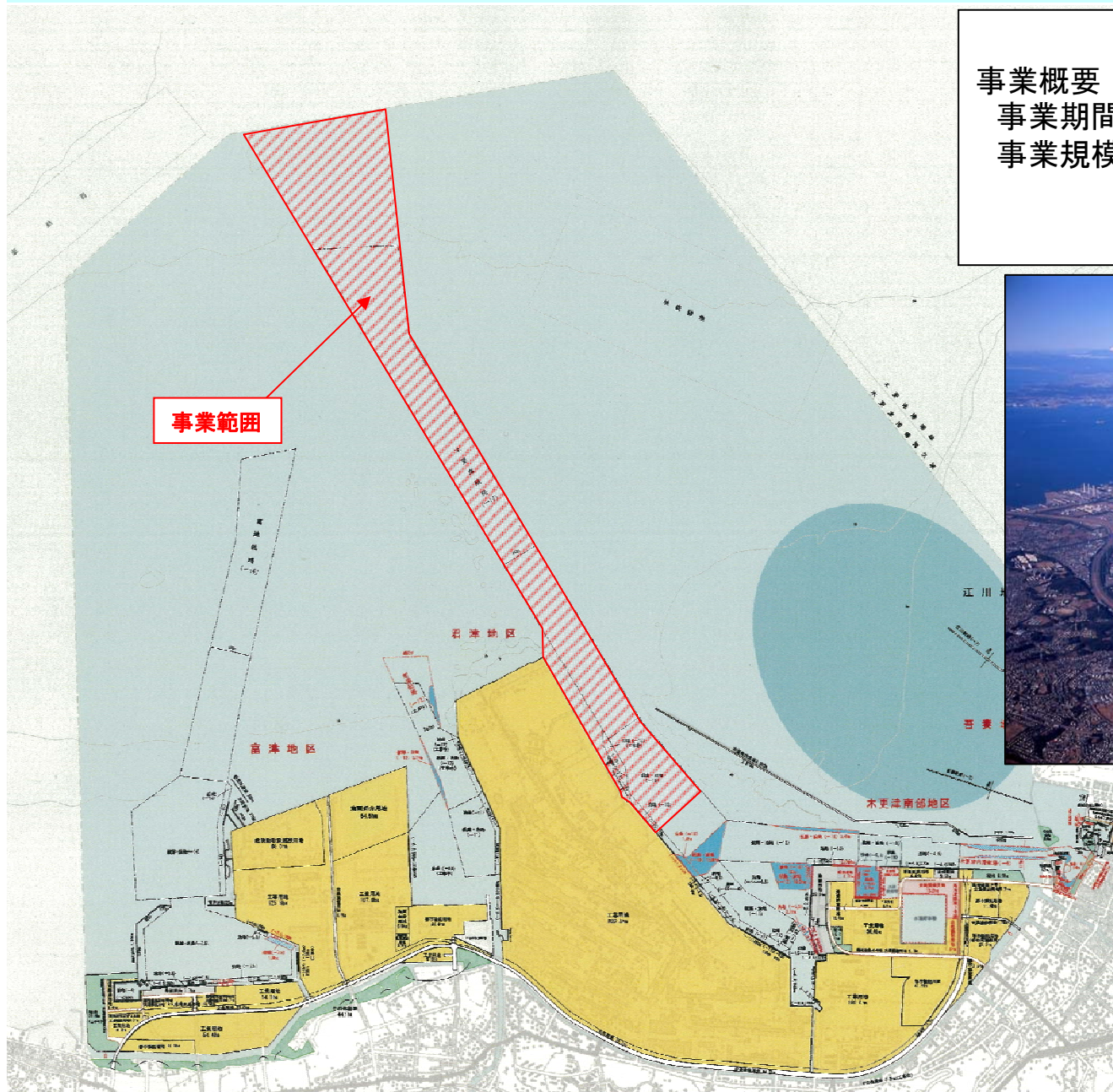
国際バルク戦略港湾への選定に向けて (応募港湾:木更津港 港湾管理者:千葉県)

事業概要

事業期間:平成24年度～平成32年度(予定)

事業規模:航路浚渫 約1,500万 m^3

VLOC船対応岸壁整備 約420m



木更津港航空写真



鉄鉱石荷揚げ状況